取扱説明書
上手にご利用いただくために

温水ルームヒーター
室内ユニット

形名 **KH-60R-W**

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「保証書」とともに保存してください。

目次　ページ

保証書別添

株式会社 富士通ゼネラル

安全上のご注意

●ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
●「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性または、火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について

⚠記号は、警告・注意を告げるものです。

⃠記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表わしています。（左図の場合は、分解や修理・改造の禁止）

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表わしています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

据付け時

⚠警告（WARNING）

据付けは、お買上げの販売店にご依頼を

●ご自分で据付け工事をされ不備がありますと、水もれや感電・火災の原因となります。

電源は必ず温水ルームヒーター専用の回路をお使いください。

●他の電気機器と共用しますと、電源の容量が不足し、火災の原因となります。

⚠注意（CAUTION）

アースを取り付けてください。

●アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
・ガス管：爆発や引火の危険
・水道管：アースの役目をしない
・避雷針：落雷のとき危険
・電話のアース線：落雷のとき危険

●アースが不完全な場合は感電の原因となることがあります。
●アース線はアース接続ネジにつないでください。
●アースは感電防止の他にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。

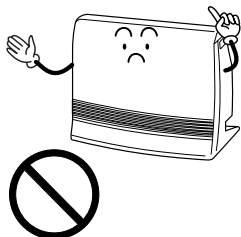
暖房水は、必ず当社純正のブライン KBB-395 または KBB-505V をうすめずに使用してください。

●他の暖房水を使用したり、混合すると、故障や事故の原因となります。

他の製品と組み合わせて使用しないでください。

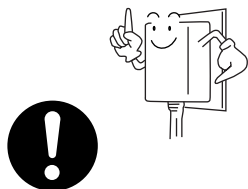
●必ず当社の室外ユニットおよび温水コンセントと組み合わせて使用してください。予想しない事故の原因となります。

⚠警告（WARNING）

温風吹出口付近で温風に直接あたらないでください。

●温風が直接肌にあたると低温やけどやお肌が乾燥するおそれがあります。温風吹出口付近や本体操作の時にはご注意ください。特に体力のない病気の方、乳幼児・お年寄りがご使用のときは十分ご注意ください。

高温部には触れないでください。

●運転中は温風吹出口や前面パネルは熱くなっていますので、手や肌を触れないでください。やけどのおそれがあります。

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

●ホコリが付着していたり、差し込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コード・プラグを破損したり加工したりしないでください。

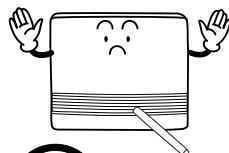
●束ねたり、加熱したり、重い物を載せたり、引っ張ったり、加工したりすると、破損して火災・感電の原因になります。

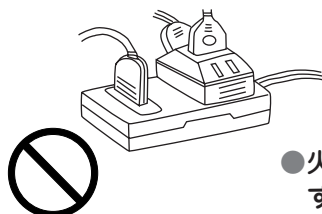
分解修理・改造の禁止

●故障や破損したときは使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

スプレー缶厳禁

●スプレー缶を温風のあたる所に放置しないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となります。
●特に、お子さまにご注意ください。

電源コードの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。

●火災・感電の原因となります。

温風吹出口や吸込口をふさがないでください。

●前面の温風吹出口や吸込口（裏面のエアフィルター部）に洗濯物をかけるなど、障害物がありますと正常な運転ができなくなります。

異常時や緊急の場合、あわてずに運転を停止して電源プラグを抜いてください。

●本体の運転 / 停止ボタンを押して停止させ、室内ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

ご使用時

⚠注意（CAUTION）

電源プラグを抜くときにコードを引っ張らないでください。

●コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線し、発熱発火の原因となることがあります。

安定器には正しいアンペアのヒューズをお使いください。

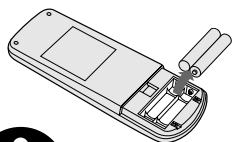
●ヒューズ以外は使用しないでください。火災の原因となることがあります。

本体やエアフィルターを掃除するときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

●内部でファンが高速回転していますのでケガの原因となることがあります。

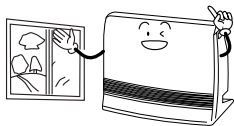
長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

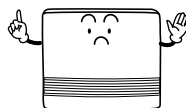
●火災や予想しない事故の原因となります。

長期間リモコンを使用しない場合は電池を取り出してください。

●電池から液がもれる場合があります。もれた液が皮膚に付いたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお、症状によっては、医師にご相談ください。

幼児が誤って電池を飲み込まないように注意してください。

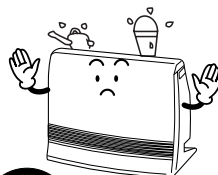
●電池を飲み込んだ場合は、すぐにはきださせて、医師にご相談ください。健康を害する原因となります。

運転中は、ときどき換気をしてください。

●特に冬期、ストーブなどと一緒に運転するときは、こまめに換気をしてください。
●換気が不十分な場合は、酸素不足の原因となることがあります。

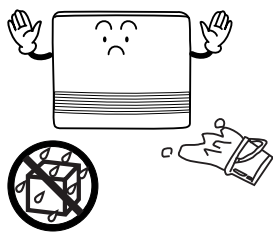
室内ユニットの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないでください。

●燃焼器具に風が当たると、不完全燃焼をおこしたり火災の原因となることがあります。

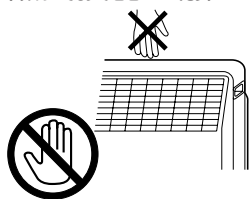
室内ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

●落下、転倒などにより、ケガの原因となることがあります。

室内ユニットの上に花びんなどの水の入った容器を載せないでください。

●水がこぼれると、内部に浸入し、感電の原因となることがあります。

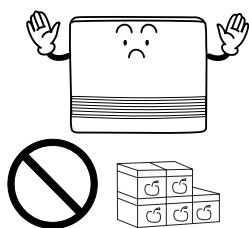
⚠注意（CAUTION）

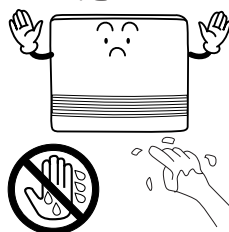
室内ユニットを水洗いしないでください。

●電気絶縁が悪くなり、感電の原因となることがあります。

熱交換器に触らないでください。

●ケガの原因となることがあります。
●特に、掃除のときなどフィルターをはずした場合にご注意ください。

プラスチック部には、絶対に火気を近づけないでください。

●火災の原因となることがあります。

この製品は、一般家庭を対象としたものですので、犬や猫などの動物の飼育、植物の栽培、食品・精密機器・美術品の保存など特殊な用途には使用しないでください。

●動植物の正常な生育の障害、品質劣化や温水ルームヒーターの故障の原因になります。

ぬれた手で本体のスイッチを操作しないでください。

●感電の原因となることがあります。

温風吹出口の近くにリモコンを置かないでください。

●温風により、リモコン故障の原因となることがあります。

電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。

●感電・ショートの原因となることがあります。

室内ユニット内部の清掃は、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談を。

●市販されているエアコン用の内部洗浄剤は使用しないでください。プラスチック部品が破損したり、洗浄後の汚水が室内に流れ出ることがあります。

落雷のおそれがあるときは運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

●落雷により故障することがあります。

据付け上のお願い（NOTICE）

（移設工事には、必要な実費がかかります。）

特殊な場所での据付けは避けてください。

●海浜地区など塩分の多い所
●温泉地帯など硫化ガスの発生する場所
●機械油が多い所
●油煙、蒸気、チリ、ホコリの排出される所
●動物の尿がかかったり、アンモニアの発生する所
●積雪により室外機の給気口や排気口がふさがれる場所（防雪の処理が必要となります）

使用場所についてのご注意

下記の項目を確認のうえ、ご使用ください。

熱に弱い床面にご注意を！

熱に弱いジュータンや床（フローリング材）の上で長時間使用しますと変色したり、そり返ることがあります。温風の当たる箇所には熱に強いマットなどを敷いてご使用ください。

木製品やビニール・樹脂製品に直接温風をあてないで！

この温水ルームヒーターは、比較的低温風を吹き出しますが、木製品（テーブル・タンス・椅子など）に温風があたりますと、温風のあたる箇所が乾燥し、変形やそり等の不具合が生じるおそれがあります。
また、熱に弱いビニールや樹脂製品なども同様に、変形などのおそれがあります。これらの木製品やビニール・樹脂製品などには直接温風があたらないようにしてご使用ください。

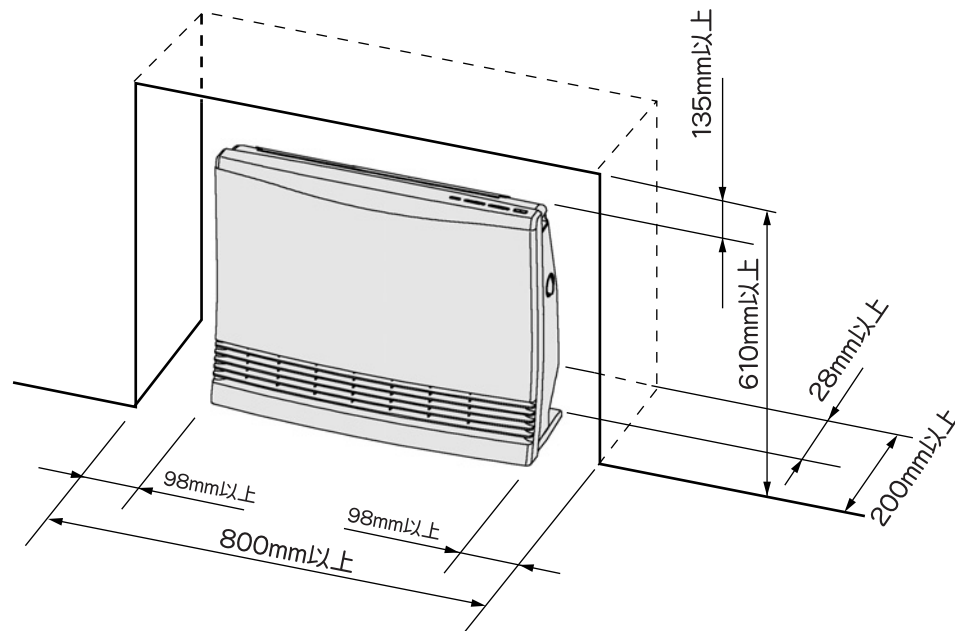
温風の循環を妨げないで！

吹出口の前に椅子やテーブルなどがありますと、温風の循環が妨げられ、効果的な暖房が行えません。また、熱に弱い材質ですと変色や変形のおそれがあります。

次のような場所では使用しないで！

周囲にガソリン、シンナーなど引火しやすいものがある場所。（火災になるおそれがあります）
床面に凹凸のある不安定な場所。（室内ユニットが転倒し、温風により床面が変色・変形するおそれがあります）

壁組込み設置でのご注意！

下図に記載されている距離がとれないような設置はしないでください。
（過熱のおそれや室温制御が正常に動作しなくなるおそれがあります）
室温センサーの取付け位置を変更した場合、壁組込み設置はしないでください。

運転のしくみについて

- 温水ルームヒーターは、室外ユニットで暖められた温水を室内に循環し、室内ユニットにより温風に換えて吹き出す間接暖房方式です。
- 運転開始から約８分で規定の温水温度となり、温風を吹き出します。
- 室内ユニットが運転中であっても規定の温水温度以下になった場合、一時的に送風が停止することがあります。室外ユニット１台について室内ユニットを２台以上運転させた場合に生じることがありますので、お部屋を早く暖める場合は室内ユニットを交互に運転してください。（開閉弁ダイヤルによるお部屋ごとの運転の切換については10ページ参照）
- 室内ユニットを２台以上運転させた場合、温風温度の低下を防ぐために風量を抑えて運転することがあります。

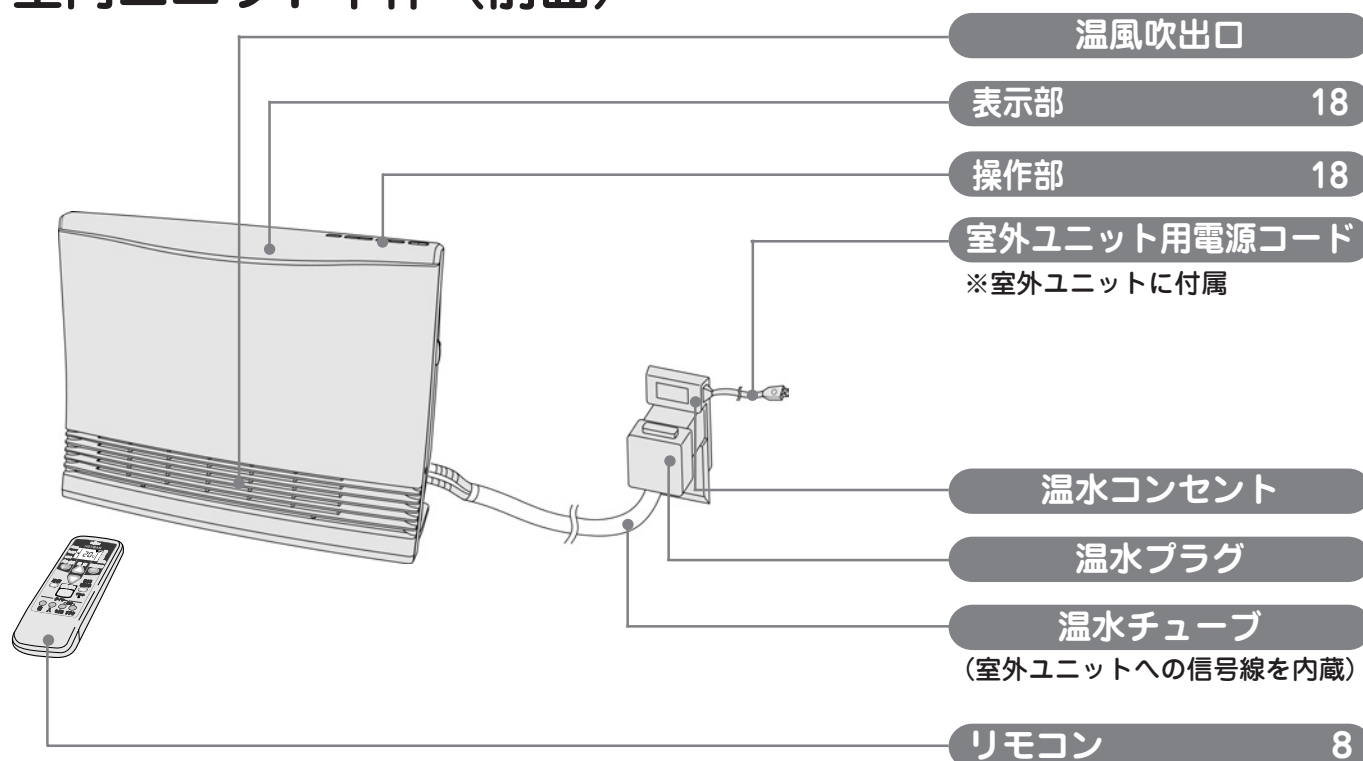
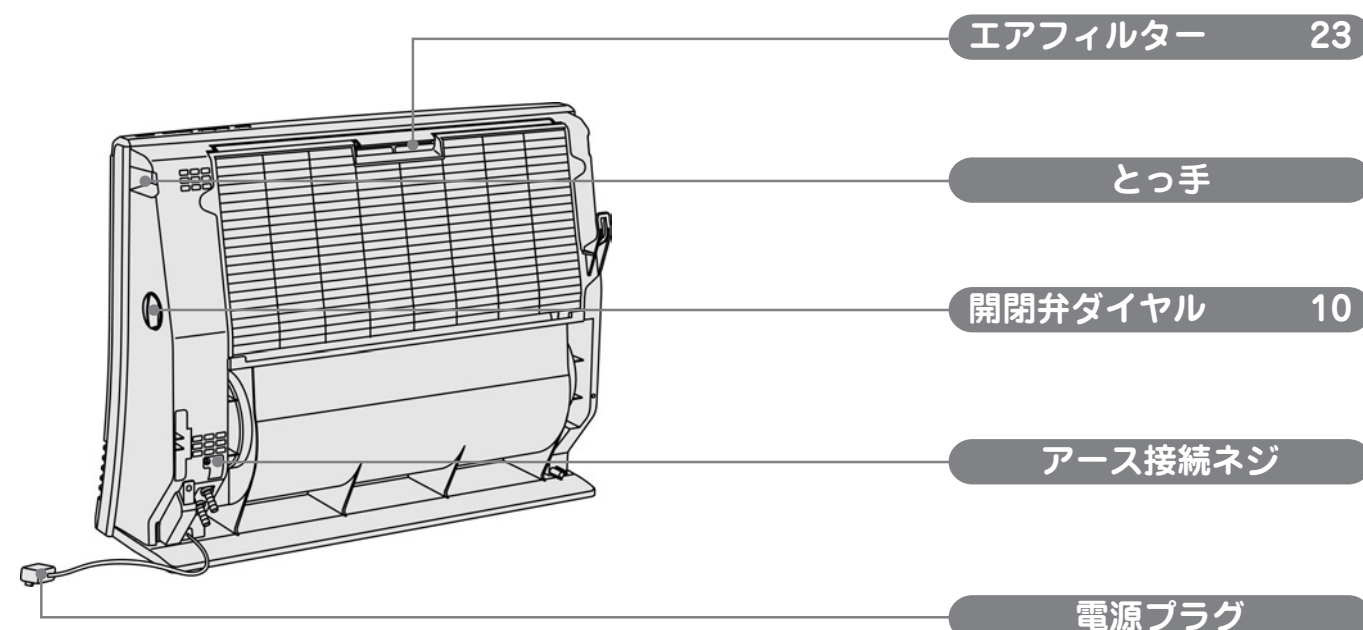
標準構成及び各部の名前

正しくお使いいただくために、各部の名前と位置を確認してください。
詳しくは、　　　内のページをご覧ください。

●温水ルームヒーターの標準構成例

室外ユニット	KB-64RS、87RS、87PU、116PS 形
室内ユニット	KH-60R-W 形
温水コンセント	KBC-20S 形（温水チューブ KHT-12 形同梱）
温水チューブ	KHT-12 形、KHT-20 形、KHT-30 形

＊上記以外の温水チューブを使用する場合は、専用の変換コネクタが必要となります。お買上げの販売店または最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

室内ユニット本体（前面）

室内ユニット本体（後面）

各部の名前

正しくお使いいただくために、各部の名前と位置を確認してください。
詳しくは、▬内のページをご覧ください。

リモコン（KHR-60P1 形）

※一部 SW が従来機種と互換性がありませんので、専用の形名のリモコンをご使用ください。

送信部
本体に信号を送ります。

パワー選択ボタン　12
パワー選択の種類を切り換えます。
（パワフル、マイルド、ソフト）

風量切換ボタン　13
風量を切り換えます。
（強、中、弱、微、対流）

停止時時刻表示ボタン　15
本体が運転停止中に押すと現在時刻表示を消灯、点灯させます。

室温設定ボタン　12
【△▽ボタン】
お部屋の温度を設定します。
△…上げる
▽…下げる

お部屋の状態により、設定温度と室温が同じにならない場合があります。

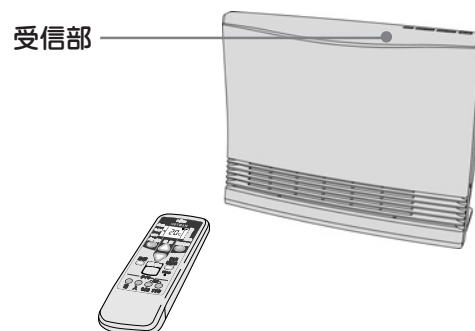
運転／停止ボタン
本体を運転、停止させます。

リセットボタン　11
電池を交換した後の誤動作をさけるために押します。

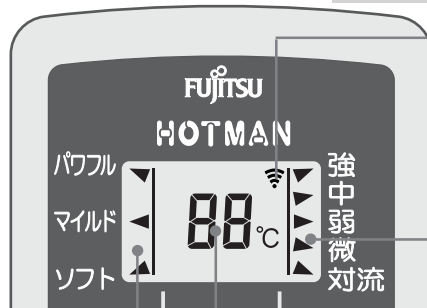
速暖ボタン　14
押すと速暖運転になります。

タイマーボタン　16～17
入タイマー、切タイマーの設定や取り消しを行います。
（入タイマー時刻や切タイマー時間の設定や取り消しができます。）

リモコン操作について

●リモコンは、受信部に正しく向けて操作してください。
●本体がリモコンからの信号を正しく受けると受信音が鳴ります。
●受信音が鳴らない場合は、再度リモコン操作を行ってください。

リモコン表示部

本体の運転／停止にかかわらずリモコン表示部は常に表示されます。また、リモコンにより運転を開始したときは、本体はリモコンで表示されたモードで運転します。

説明のため全部表示した図になっていますが、実際には、該当するところだけを表示します。

送信表示
本体へ信号を送るときに表示します。

風量切換モード表示 13
風量切換モード（強、中、弱、微、対流）を表示します。

パワー選択モード表示 12
パワー選択モードを表示します。
（パワフル、マイルド、ソフト）

設定温度表示
設定された室温を表示します。

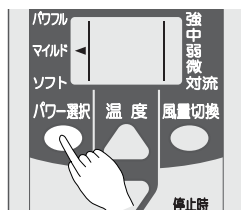
本体で設定温度を変更した際は、リモコンの表示と本体の設定温度の表示が異なる場合があります。

ご使用前に

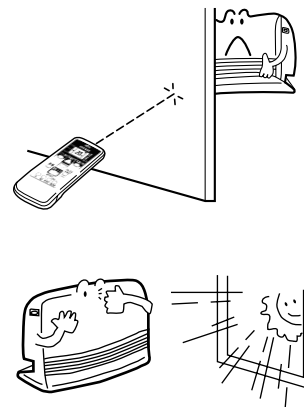
リモコン操作と表示について（そこだけ表示機能）

●リモコンのボタン操作を行うと、操作に関する内容だけを表示し、その他の表示は消えます（そこだけ表示機能）。操作内容が確認しやすい便利な機能です。
●パワー選択・室温設定・風量切換などは一回押すとそこだけ表示機能が働き、設定内容の変更が行われ、本体に信号が送信されます。

（例）「パワフル」になっている場合

（例）パワー選択ボタンを押した場合

約 3 秒後全体が表示されます。

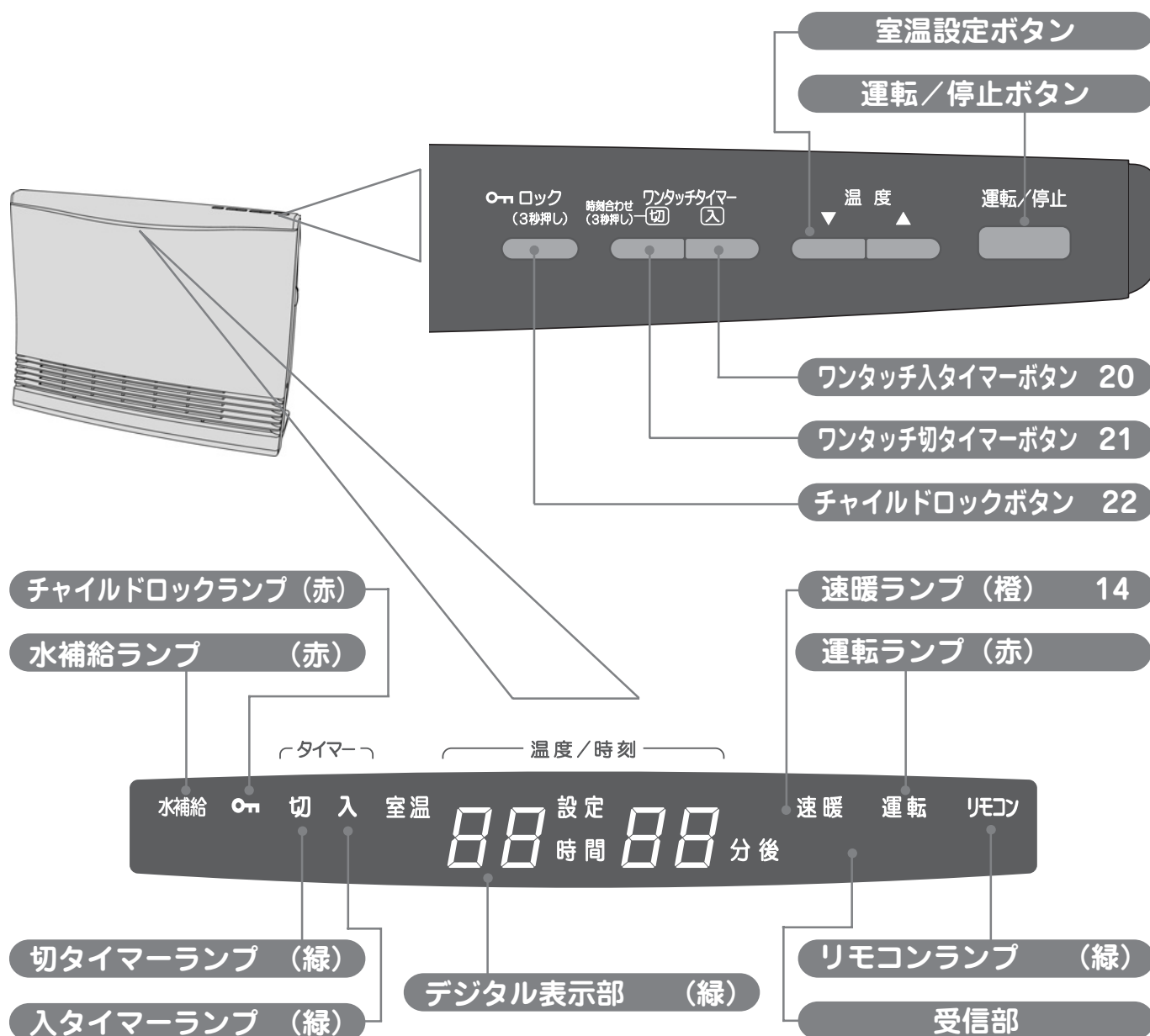
お願い（NOTICE）

●リモコンと受信部との間にカーテンや壁などがあると信号が届きません。
●受信部に強い光が当たると、室内ユニットが正しく動作しないことがあります。カーテンなどで直射日光をさえぎり、また照明器具や薄型テレビの画面を受信部から離してください。
●直射日光や暖房器具などの熱の影響のない所へ置いてください。
●強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。
●電子式瞬時点灯方式（インバーター方式など）の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。その場合は、販売店にご相談ください。
●リモコンの操作で他の室内ユニットや電気機器が動作したり、他のリモコンで室内ユニットが動作する場合は、販売店にご相談ください。
●電池の寿命は約1年間です。次の場合は電池を交換し、リセットボタンを押してください。
＊本体に近づかないと受信しない場合。
＊リモコンが正しく動作しない場合。
＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合。

各部の名前（つづき）

正しくお使いいただくために、各部の名前と位置を確認してください。
詳しくは、18ページをご覧ください。

本体表示部・操作部

室温設定ボタン
運転／停止ボタン
ロック（3秒押し）
時刻合わせ（3秒押し）
ワンタッチタイマー 切 入
温 度 ▼ ▲
運転／停止
ワンタッチ入タイマーボタン 20
ワンタッチ切タイマーボタン 21
チャイルドロックボタン 22

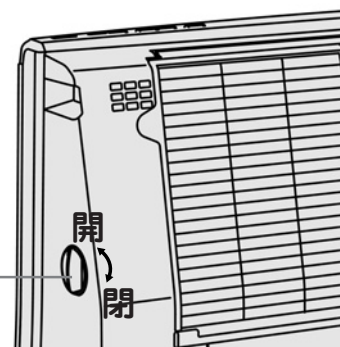
チャイルドロックランプ（赤）
水補給ランプ （赤）
速暖ランプ（橙） 14
運転ランプ（赤）
タイマー
温度／時刻
水補給 切 入 室温 88 設定 時間 88 分後 速暖 運転 リモコン
切タイマーランプ （緑）
入タイマーランプ （緑）
デジタル表示部 （緑）
リモコンランプ （緑）
受信部

開閉弁ダイヤルについて

本体右側面に通水量を調節する開閉弁ダイヤルがあります。

【2部屋以上に室内ユニットが設置されている場合】

- 使用しない部屋の室内ユニットの開閉弁ダイヤルは閉にしてください。
- 1部屋を速く暖めたい場合は、別室の室内ユニットの開閉弁ダイヤルを閉にしてください。

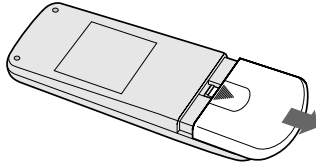
＊ダイヤルの開閉操作はゆっくり行ってください。
＊運転するときは開閉弁ダイヤルを開にしてください。閉のまま運転すると暖房水が循環せずお部屋が暖まりません。
＊開閉弁を閉めた状態でも温水が若干流れるため室内ユニット付近が暖かく感じることがあります。暖房水の循環を完全に遮断するには温水プラグを温水コンセントから外してください。

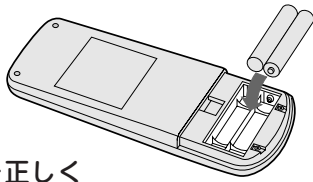
開閉弁ダイヤル

準備

リモコンの準備

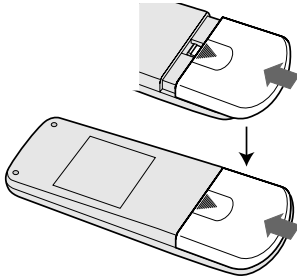
ご使用前にリモコンに電池を入れてください。

電池の入れ方（単４形を２本）

1 裏面の電池ブタを開ける

▼を押しながら矢印の方向に引く

2 単4形乾電池を入れて、リセットボタンを押す

⊕⊖を正しく

●電池を交換した後の誤動作を避けるため、必ずリセットボタンを押してください

3 電池ブタを閉める

⚠注意（CAUTION）

●幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意ください。
●長期間リモコンを使用しない場合は、電池を取り出してください。電池から液が漏れる場合があります。
＊漏れた液が皮膚に付いたり、目や口に入った場合には、ただちに水で洗い流してください。なお症状によっては医師にご相談ください。

お願い（NOTICE）

●新旧、異種の電池を混用しないでください。
●電池の寿命はご使用の頻度にもよりますが、約１年間です。次の場合は電池を交換し、リセットボタンをボールペンなど先の細いもので押してください。
＊本体に近づかないと受信しない場合
＊リモコンが正しく動作しない場合
＊リモコンの表示部がうすくなり、文字が見にくくなった場合

リセットボタンについて

●電池を交換した後や、動作が正常でない場合、必ずリセットボタンを押してください。
●リセットボタンは、ボールペンなど先の細いもので押してください。

本体の準備

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

現在時刻の合わせ方

本体表示部

タイマー　温度／時刻
時　分

1 ワンタッチ切タイマーボタンを３秒以上押す。

●「ピッ」という音がして、表示部の現在時刻が点滅表示します。運転中は受け付けません（運転停止中のみ受け付けます。）

2 室温設定△／▽ボタンを押して現在時刻を合わせる。

△ボタン…時刻を進めるとき
▽ボタン…時刻を戻すとき

１回押すと１分変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

●時刻は24時間表示を用います。
（例　午後３：00は15：00と表示）

3 ワンタッチ切タイマーボタンをもう１度押す

ワンタッチ切タイマーボタンをもう１度押して現在時刻の設定を完了するまでは、他のボタン操作やリモコン操作を受け付けません。

※現在時刻が設定されていないと本体表示部に「――　――」が点滅表示されます。
※現在時刻が設定されていないと入タイマー運転できません。現在時刻を設定してください。
※AC電源の波形を読み取って時刻を表示していますので、電源プラグが抜けたり、停電があった場合などは、現在時刻の再設定が必要になります。

パワー選択のしかた

お使いになる部屋の広さに合わせて３段階のパワー選択ができます。
リモコンのパワー選択、室温設定、風量切換の操作は、１回押すとそこだけ表示機能が働き、設定内容の変更が行われ、本体へ信号が送信されます（9ページ）。

1 運転／停止ボタンを押す

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

（例）「パワフル」になっている場合

本体表示部

温度／時刻

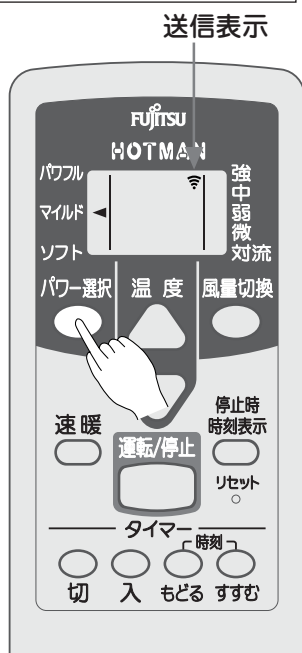
室温 20 設定 20

●運転ランプが点灯します。
●室内温度・設定温度を表示します。
●リモコンランプが点灯します。

2 パワー選択ボタンで運転モードを選ぶ

押すごとに切り換わります。

パワフル ―→ マイルド ―→ ソフト

送信表示

（例）「マイルド」にした場合
パワー選択ボタンを押すと、パワー選択モードだけが表示されます。

約３秒後、他の表示も表示されます。

本体表示部

温度／時刻

室温 20 設定 20

設定温度を変えるとき

室温設定ボタンで設定温度を変える

△ボタン…温度を上げるとき
▽ボタン…温度を下げるとき
設定温度の範囲…10℃～30℃

送信表示

（例）「21℃」にした場合
室温設定ボタンを押すと、温度表示だけが表示されます。

約３秒後、他の表示も表示されます。

本体表示部

●設定温度はリモコンの室温設定ボタンを押すと変更され点灯表示します。

パワー選択について

●パワー選択は風量を自動的に切り換えることによって、室温コントロールを行います。（パワフルの最大風量は「強」、マイルドの最大風量は「中」、ソフトの最大風量は「弱」です）

モード	風量切換範囲				
パワフル	強	中	弱	微	対流
マイルド		中	弱	微	対流
ソフト			弱	微	対流

●部屋の大きさや、外気温によっては、室内温度と設定温度の表示が一致しない場合がありますが、故障ではありません。
●春先や秋口、また小部屋で使用した場合には、室温コントロールが微運転でも室内温度が設定温度より高くなってしまうことがあります。この場合、室内温度が設定温度より約２℃上昇すると送風機は自動的に停止します。

停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）、室内温度、設定温度が消え現在時刻を表示します。

本体表示部

風量切換運転のしかた

お好みの風量又は対流運転に切り換えて運転ができます。（対流運転では室温設定はできません）
リモコンのパワー選択、室温設定、風量切換の操作は、１回押すとそこだけ表示機能が働き、設定内容の変更が行われ、本体へ信号が送信されます（９ページ）。

1 運転／停止ボタンを押す

（すでに運転しているときは､そのまま２へ）

（例）「パワフル」になっている場合

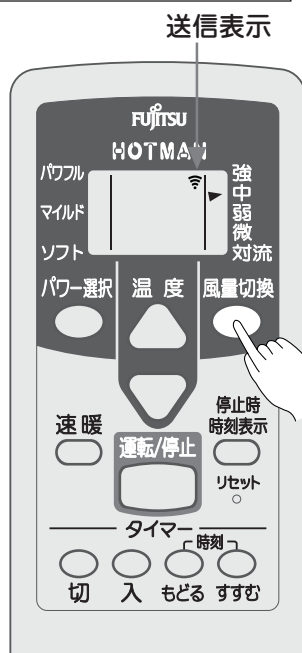
本体表示部

温度／時刻
室温 20 設定 20

●運転ランプが点灯します。
●室内温度･設定温度を表示します。
●リモコンランプが点灯します。

2 風量切換ボタンで運転モードを選ぶ

押すごとに切り換わります。

強 → 中 → 弱 → 微 → 対流

（例）「中」にした場合
風量切換ボタンを押すと、風量切換モードだけが表示されます。
約３秒後、他の表示も表示されます。

本体表示部

設定温度を変えるとき

室温設定ボタンで設定温度を変える

△ボタン…温度を上げるとき
▽ボタン…温度を下げるとき
設定温度の範囲…10℃～30℃

（例）21℃にした場合
室温設定ボタンを押すと、温度表示だけが表示されます。
約３秒後、他の表示も表示されます。

本体表示部

●設定温度はリモコンの室温設定ボタンを押すと表示され、点灯表示します。

風量切換運転について

●風量（強～微）を選択して運転しているときは、室内温度が設定温度より約２℃上昇すると送風機は自動的に停止します。その後、室内温度が低下すると温風吹き出しを再開します。
●「対流」運転は温風吹き出しを停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで運転しますので、室温設定はできません。室温が暖まりすぎと思われた場合は運転を停止してください。（「対流」運転時は設定温度を表示しません。）

停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）、室内温度、設定温度が消え現在時刻を表示します。

本体表示部

速暖運転のしかた

●ワンタッチで速暖運転ができます。
●着火までの時間を短縮するため、室外ユニットの気化器を保温しながら待機します。
●しばらくお部屋を離れるときに速暖運転にしておきますと便利です。

速暖運転をする場合

運転中または運転停止中に速暖ボタンを押す

本体表示部の速暖ランプ（橙）が点灯します。(運転ランプは点灯しません)

●速暖運転は８時間経過時点で自動的に停止します。
●速暖運転とタイマーの組合わせはできません。
●通常運転中に速暖ボタンを押すと通常運転は停止し、速暖運転になります。

速暖運転を停止する場合

もう一度、速暖ボタンを押す

本体表示部の速暖ランプ（橙）が消えます。

速暖運転中、通常運転をする場合

運転 / 停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯し、速暖ランプ（橙）は消えます。

（例）「パワフル」になっている場合

●本体は運転を開始します。

停止時時刻表示ボタンの使い方

●運転停止中の現在時刻表示を消灯又は点灯させるときに使います。
●本体が運転中のときは受け付けません。

現在時刻表示を消灯させる場合

運転停止中に停止時時刻表示ボタンを押す。

本体表示部の現在時刻表示が消灯します。

●現在時刻が設定されていないときは、本体表示部に「―― ――」が点滅表示されています。この場合には停止時時刻表示ボタンを受け付けません。

現在時刻表示を点灯させる場合

運転停止中にもう一度、停止時時刻表示ボタンを押す。

本体表示部の現在時刻表示が点灯します。

入タイマーの使い方

設定した時刻に運転を開始します。
（例えば 6 時 10 分に運転を開始させるとき）

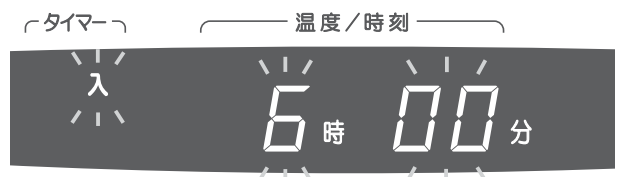
①入タイマーと切タイマーは同時に予約できません。
②入タイマー予約中に切タイマー予約はできません。
③ 0 時 00 分～ 23 時 50 分まで 10 分単位で設定できます。
④設定した時刻になると、入タイマーを設定したときの運転モード、設定温度で運転を開始します。

本体表示部

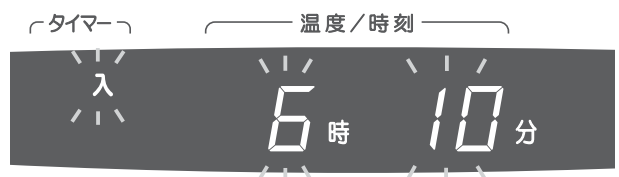
1 運転 / 停止ボタンを押す

（すでに運転しているときは、そのまま 2 へ）

2 入タイマーボタンを押す

（本体表示部の入タイマーランプ、入タイマー時刻が点滅します。）

3 時刻設定ボタンでタイマー時刻を設定する

タイマー時刻の設定は、本体表示が点滅している間に行ってください。

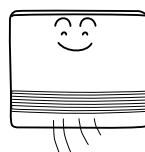
すすむ……時刻を進めるとき
もどる……時刻を戻すとき

4 約4秒後、入タイマー時刻が確定し、現在時刻表示に切り換わります。

（入タイマーランプが点灯します。）

タイマー　温度／時刻
入　23 時　00 分

入タイマーについて

●お目覚めになるときなどにお使いください。
●入タイマーを予約すると運転を停止します。
●室温により入タイマーの運転開始時刻が下記のとおり切り換わります。
（インテリジェントタイマー機能）
室温が入タイマー時刻の 60 分前の時点において、

・室温が 0℃未満の場合、
入タイマー時刻より 60 分前に運転が開始されます。
・室温が 0℃以上 7℃未満の場合、
入タイマー時刻より 30 分前に運転が開始されます。
・室温が 7℃以上 12℃未満の場合、
入タイマー時刻より 15 分前に運転が開始されます。
・室温が 12℃以上の場合、
入タイマー時刻に運転が開始されます。
ただし、入タイマー時刻から 60 分以内に入タイマーをセットした場合は設定時刻に運転を開始します。

タイマー時刻を変更するとき

2.3 の操作を行う

タイマーを取り消すとき

入タイマーボタンを続けて 2 度押す

すぐに運転を開始したいとき

運転 / 停止ボタンを押す

●入タイマーは取り消されます。

切タイマーの使い方

設定した時間が経過すると運転を停止します。
（例えば 1 時間 10 分後に運転を停止させるとき）

①切タイマーと入タイマーは同時に予約できません。
②切タイマー予約中に入タイマー予約はできません。
③ 0 時間 10 分後～ 2 時間 00 分後まで 10 分単位で設定できます。

本体表示部

1 運転 / 停止ボタンを押す

（すでに運転しているときは、
そのまま 2 へ）

2 切タイマーボタンを押す

（本体表示部の切タイマーランプ、
切タイマー時間が点滅します。）

3 時刻設定ボタンでタイマー時間を設定する

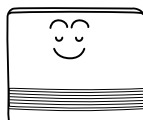
タイマー時間の設定は、本体表示が
点滅している間に行ってください。

（すすむ）……時間を進めるとき
（もどる）……時間を戻すとき

4 約 4 秒後、切タイマー時間が確定し、運転表示に切り換わります。

（切タイマーランプが点灯します。）

切タイマーについて

●設定した時間を経過すると運転を停止します。
●おやすみになるときなどにお使いください。

タイマー時間を変更するとき

2.3 の操作を行う

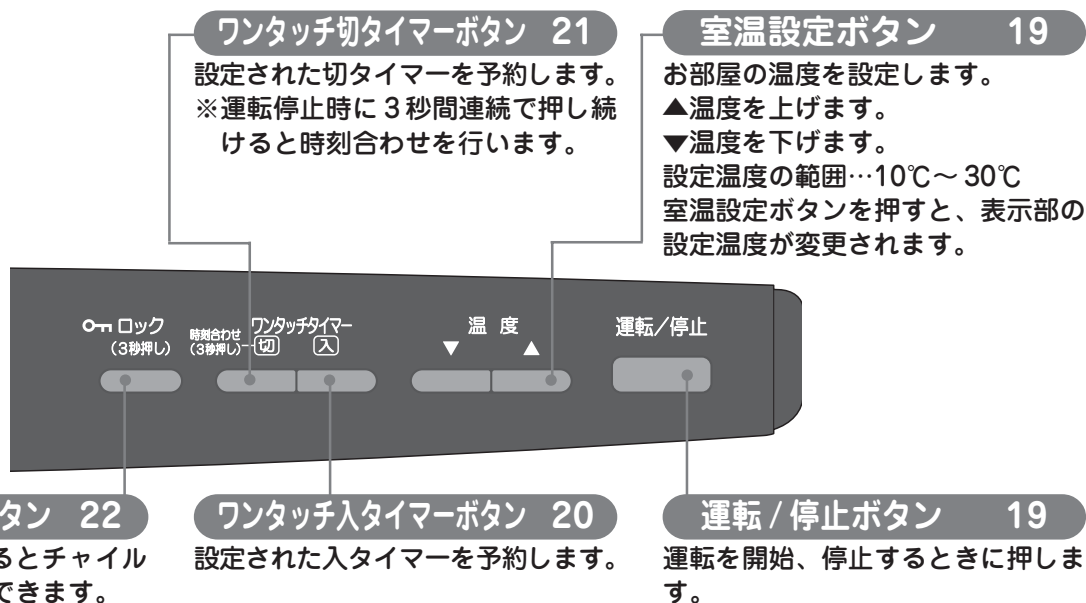
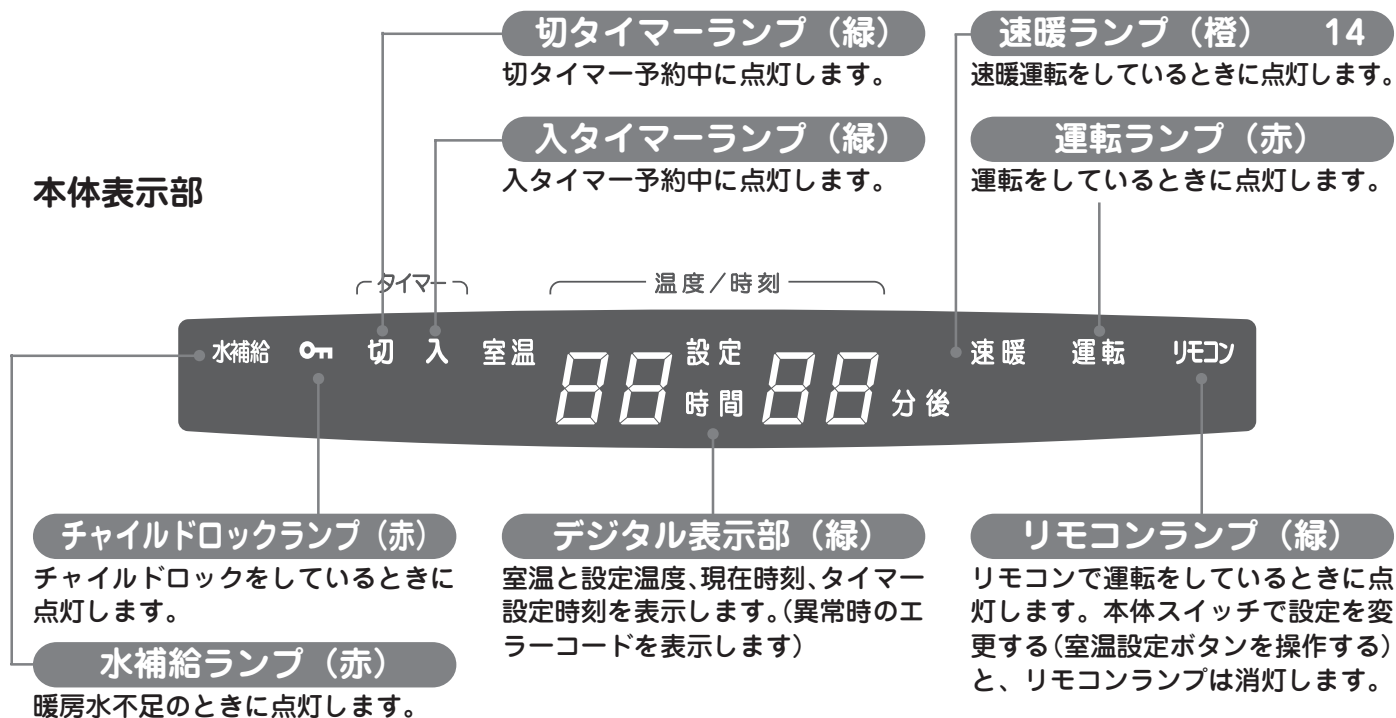
タイマーを取り消すとき

切タイマーボタンを続けて 2 度押す。通常の運転に戻ります。

すぐに運転を停止したいとき

運転 / 停止ボタンを押す
●切タイマーは取り消されます。

本体運転のしかた

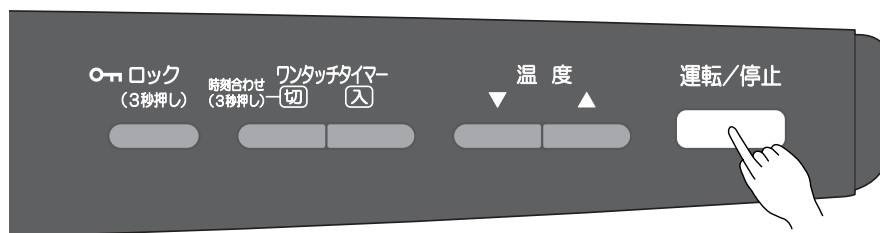
正しくお使いいただくために、各部（表示部、操作部）の名前と位置を確認してください。
詳しくは、　　内のページをご覧ください。

表示部について

- 停電からの復帰時、また電源投入時は運転ランプ、チャイルドロックランプが交互に点滅します。また、本体表示部に「――　――」が点滅表示されます。（現在時刻の合わせ方は 11 ページ参照）
- 水補給ランプが点灯したら室外ユニットに水道水を補給してください。（詳しくは、室外ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。）
- 運転ランプが点滅したら油タンクに灯油を補給してください。
  ＊室外ユニットが KB-64DT 形の場合、または給油センサー（別売品）取付け時に表示します。
  ＊給油センサー（別売品）をお使いの際、別置タンクに給油して給油センサーが正常に動作するまで、すこし時間がかかります。このとき運転ランプが点滅する場合がありますが故障ではありません。

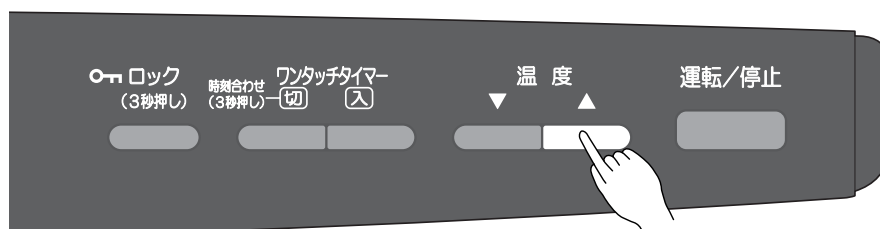
表示例	状態
20　20点灯	運転中：室内温度と設定温度を表示します。
E　01点滅	安全装置作動：エラー番号を表示します。（詳しくは、26 ページの「修理を依頼される前に」をご覧ください。）

＊表示される室温は、本体の設置条件によってお部屋の温度と一致しない場合があります。

本体運転のしかた

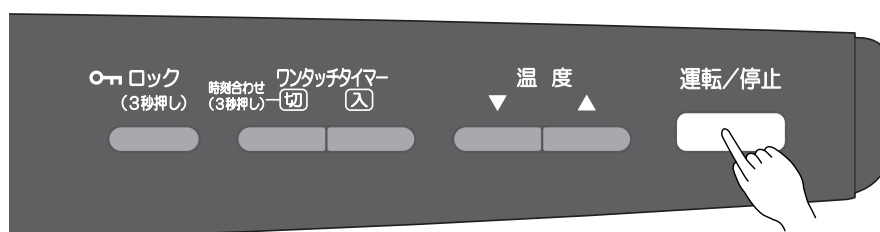
1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部

・パワー選択のパワフルモードで運転します。
（パワー選択のモードは本体では変更できません。リモコンで設定を変更してください。）

2 室温設定ボタンで設定温度を変更する

本体表示部

△ボタン…温度を上げるとき
▽ボタン…温度を下げるとき
設定温度の範囲　10℃～30℃
※リモコンにより風量切換運転の「対流」が選択されている場合は室温設定ができません。
　設定温度も表示されません。

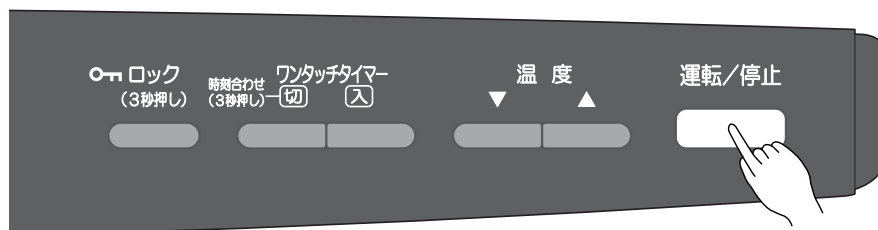
3 停止するとき

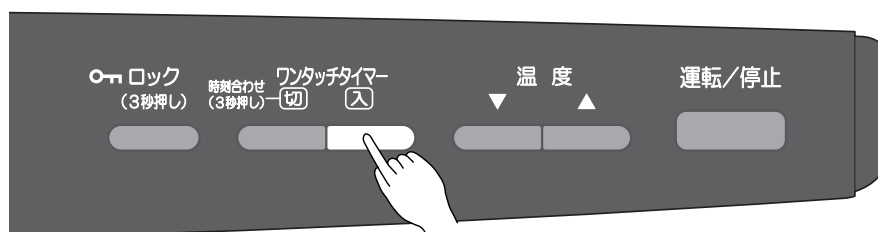
・運転／停止ボタンを押す。
・運転ランプが消灯します。
・現在時刻を表示します。

本体表示部

ワンタッチ入タイマーの使い方

①ワンタッチ入タイマーボタンを押すとリモコンにより最後に設定された時刻で入タイマーを予約することができます。（続けて２度押すと入タイマーは解除されます。）
②ワンタッチ入タイマーとワンタッチ切タイマーは同時に予約できません。
③ワンタッチ入タイマー予約中にワンタッチ切タイマーは予約できません。
④設定された時刻になると、ワンタッチ入タイマーを設定したときの運転モード、設定温度で運転を開始します。

1 運転／停止ボタンを押す

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

本体表示部

2 ワンタッチ入タイマーボタンを押す

本体表示部

約４秒間入タイマーランプと入タイマー時刻を点滅表示します。
①約４秒後入タイマー時刻が確定し、入タイマーランプが点灯します。
②約４秒経過する前に続けてワンタッチ入タイマーボタンを押すと、ワンタッチ入タイマーは取り消されます。
※入タイマー時刻はリモコンでのみ設定変更することができます。（16ページ参照）

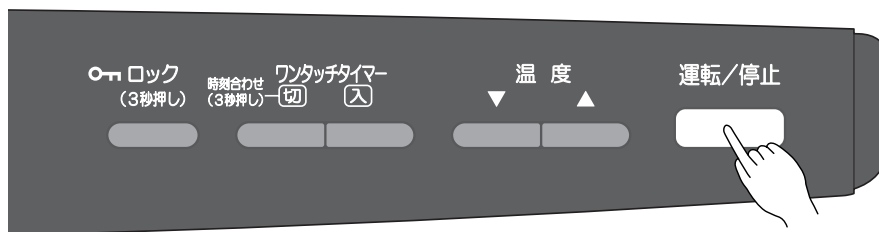
3 タイマー動作中に

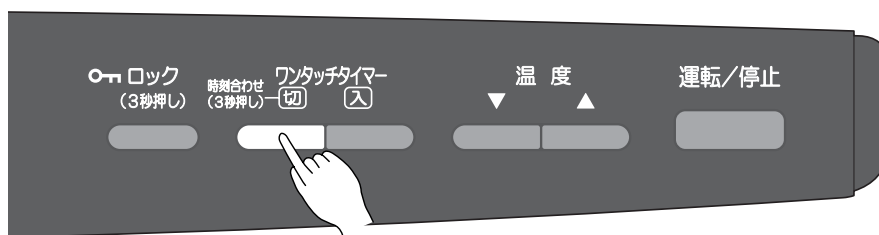
①ワンタッチ入タイマーボタンを１度押すと入タイマー時刻が点滅表示され、確認することができます。
②ワンタッチ入タイマーボタンを続けて２度押すとワンタッチ入タイマーの取り消しができます。
③運転／停止ボタンを押すと、ワンタッチ入タイマーが取り消され、本体は運転を開始します。
④運転モード、設定温度を変更する場合は、リモコンのパワー選択ボタン、風量切換ボタン、室温設定△／▽ボタンを押してください。（本体表示部に４秒間、室内温度と変更した設定温度が表示されます。）

ワンタッチ切タイマーの使い方

①ワンタッチ切タイマーボタンを押すとリモコンにより最後に設定された時間で切タイマー予約することができます。
（続けて２度押すと切タイマーは解除されます。）
②ワンタッチ切タイマーとワンタッチ入タイマーは同時に予約できません。
③ワンタッチ切タイマー予約中にワンタッチ入タイマーは予約できません。

1 運転／停止ボタンを押す

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

本体表示部

2 ワンタッチ切タイマーボタンを押す

本体表示部

約４秒間切タイマーランプと切タイマー時間を点滅表示します。
①約４秒後切タイマー時間が確定し、切タイマーランプが点灯します。
②約４秒経過前に続けてワンタッチ切タイマーボタンを押すと、ワンタッチ切タイマーは取り消されます。
※切タイマー時間はリモコンでのみ設定変更することができます。（17 ページ参照）

3 切タイマー予約中に

①ワンタッチ切タイマーボタンを１度押すと切タイマー時間が点滅表示され、運転停止までの時間（10分単位）の確認ができます。
②ワンタッチ切タイマーボタンを続けて２度押すとワンタッチ切タイマーの取り消しができます。
③運転／停止ボタンを押すと、ワンタッチ切タイマーが取り消され、本体は運転を停止します。

本体のタイマーとリモコンのタイマーについて

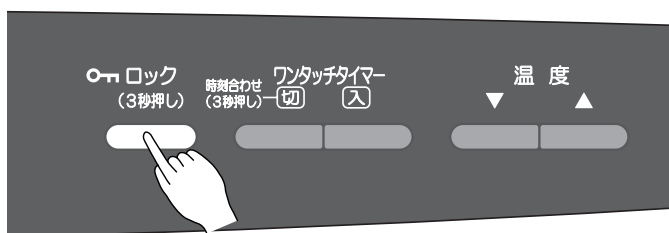
入タイマーについて

- 入タイマーは､本体とリモコンで予約することができます。
- 入タイマー時刻はリモコンでのみ設定変更することができます。

切タイマーについて

- 切タイマーは､本体とリモコンで予約することができます。
- 切タイマー時間はリモコンでのみ設定変更することができます。

チャイルドロックの使い方

ロックすると、お子さまのいたずら操作を防ぐことができます。

本体表示部

チャイルドロックをするとき

チャイルドロックボタンを３秒以上押す。

チャイルドロックランプ（赤）が点灯し、ロックされます。

解除するとき

チャイルドロックボタンを３秒以上押す。

チャイルドロックランプ（赤）が消灯し、解除されます。

チャイルドロックについて

●運転中（タイマーも含む）・速暖運転中・停止中にロックできます。
●運転中にロックしているときは、本体又はリモコンの運転／停止ボタンを押して、運転を停止することができます。
●停止中にロックしているときは、すべての操作ができません。ロックを解除してから運転してください。
●電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときにはチャイルドロックは解除されます。

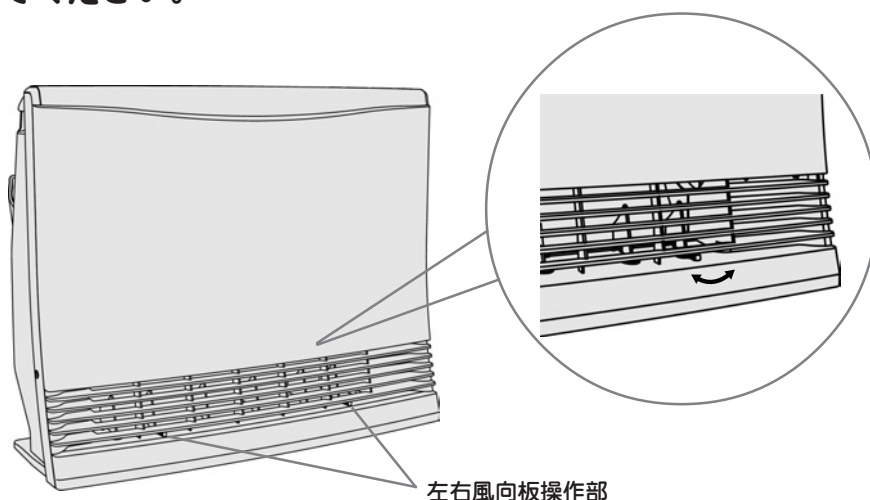
風向調節のしかた

風向の調節をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、風向板が冷めてから行ってください。

左右風向板を調節するとき

左右風向板操作部は手で調節してください。

⚠警告（WARNING）

●吹出口の奥に指や棒を入れないでください。
＊内部でファンが高速回転していますのでケガの原因となることがあります。

風向調節について

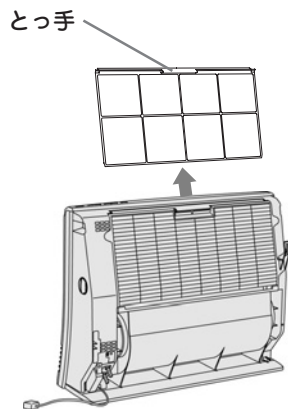
●左右風向板は必ず手で調節してください。棒などを使いますと誤って吹出口に入り、ケガの原因となったり内部の送風ファンを破損したりするおそれがあります。
●乳幼児、お子さま、お年寄り、病気の方などがいる部屋で室内ユニットを使う場合は、周囲の方が常に注意して風向きや室温を調節してください。

日常のお手入れ

●お手入れは、温水ルームヒーターの運転を停止し、30分以上待ち、本体・暖房水が冷めてから電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。

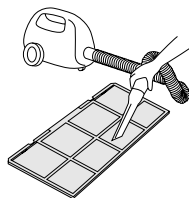
エアフィルターの清掃

1 エアフィルターを取りはずす

●エアフィルターのとっ手を持って持ち上げ、引き出す。

⚠警告（WARNING）

熱交換器に触らないでください。
エアフィルターの取りはずし、取り付けを行う際に熱交換器に触ると、ケガの原因になることがあります。

2 ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする

●水洗いの後は日陰でよく乾かす。

3 エアフィルターを取り付ける

エアフィルターについて

●エアフィルターにホコリがたまると風量が減り、能力が低下したり運転音が大きくなったりします。

●シーズン始めには必ず清掃し、使用期間中は週1回を目安に清掃してください。

※新しいカーペット等を使用している場合にはエアフィルターが詰まりやすくなります。

シーズン前・後のお手入れ

●お手入れは、温水ルームヒーターの運転を停止し、電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。

⚠警告（WARNING）

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

●ホコリがたまって、発煙･発火の原因となることがあります。

本体の清掃

水かぬるま湯に濡らした柔らかい布でふき､その後からぶきしてください。

お願い（NOTICE）

40℃以上の温水は使わないでください。

変色することがあります。

揮発性・可燃性のものは使わないでください。

ベンジン、シンナー、みがき粉などでふいたり、殺虫剤などをかけないでください｡製品を傷めることがあります。

⚠注意（CAUTION）

室内ユニット内部の清掃は、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

●室内ユニット内部の洗浄は専門の技術を必要とします｡市販されているエアコン用洗浄剤は使用しないでください｡プラスチック部品が破損したり､洗浄後の汚水が室内に流れ出ることがあります。

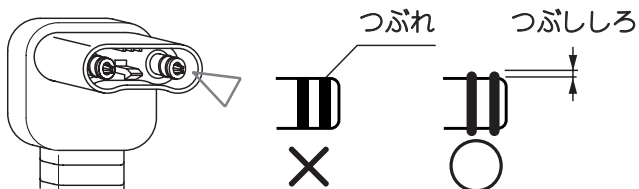
点検整備は

安全にお使いいただくために定期的に点検してください。

●温水チューブが折れ曲がったり､ねじれたりしていませんか？

●温水チューブが古くなってひび割れ､傷などがありませんか？

●温水コンセントからの水もれはありませんか？

●温水プラグのＯリングの変形はありませんか？

●水補給ランプが点灯したときは室外ユニットに水道水を補給してください。

消耗・劣化しやすい部品について

温水チューブは長期間使用していると固くなり本体からの抜け、水漏れの原因となります。固くなった場合には､お買い上げの販売店又は当社サービス窓口へご相談ください。

※消耗部品代はお客様の負担になります。

⚠注意（CAUTION）

暖房水は定期的に交換する

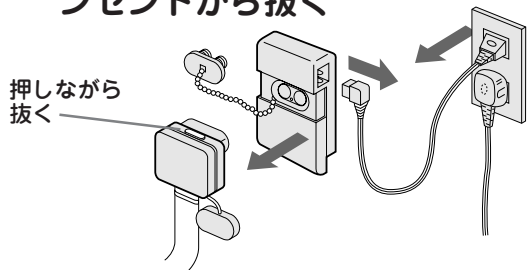
暖房水は２年に１度必ず交換してください。

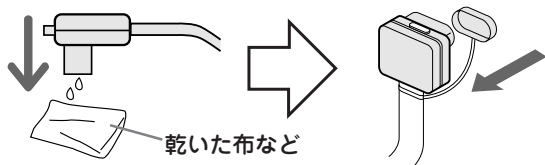
●暖房水が濃度の低下により凍結し破損する恐れがあります。
また、濃度が濃くなると、室内の暖まりが悪くなる恐れがあります。

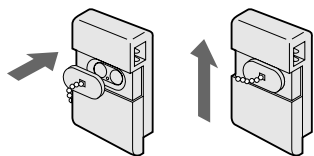
●暖房水に含まれた防錆剤の効果がなくなり、機器の劣化につながります。

保管のしかた

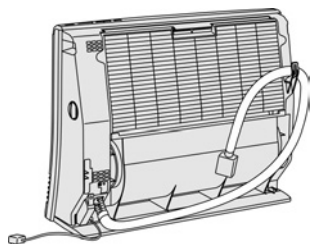
保管は運転停止後（2台以上でご使用の場合は全ての室内ユニットの運転を停止する）30分以上待ち、本体・暖房水が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。

1 室内ユニット、室外ユニットの電源プラグを抜き、温水プラグを温水コンセントから抜く

※温水プラグから少量の水滴が落ちますので、ぞうきんなどを下側に当ててください。

2 温水プラグにカバーをする

※少量の暖房水がプラグ部に付着しますので、図のように温水プラグの水滴を取ってからカバーを付けて収納してください。
※温水プラグの弁にゴミ等が付着した場合、暖房水が微量に漏れる恐れがあります。カバー取付後念の為ビニール袋などをかぶせてください。

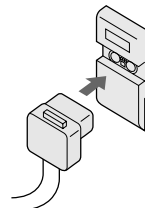
3 温水コンセントに確実に栓をして、フタを閉める

※確実に栓をしないと水漏れの原因になります。
※少量の暖房水がコンセント部に付着しますので、乾いた布などでふきとってから収納してください。

プラグ･コンセントの端子部に水滴が付いたままですと、次回使用時に誤動作の原因となります。

4 温水プラグのホースを温水コンセントフックに引っかける

※包装箱に入れて保管する
・室外ユニットの電源コードを袋などに入れて、室内ユニットと一緒に収納すると次に使用するときに便利です。

据付け

据付けは保管のしかたと逆の手順で行ってください。

1 温水プラグを温水コンセントにカチッと音がするまで差し込む

温水プラグに暖房水が付着していないことを確認して差し込んでください。

⚠警告（WARNING）

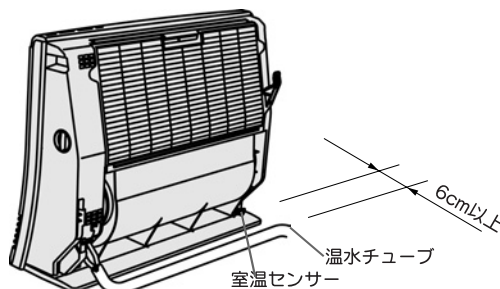
温水プラグは、プラスチック、ゴムなどの材料が使われています。強い力などが加わると破損し水もれの原因となります。蹴ったり、叩いたりは絶対にしないでください。装着はまっすぐ確実に行ってください。

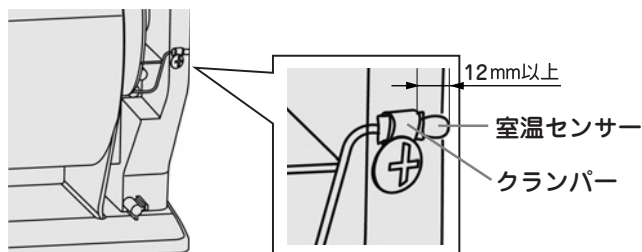
2 室内ユニット、室外ユニットの電源プラグを専用コンセントに確実に差し込む

室内ユニットを壁際に設置する場合

室内ユニットを壁際で使用する場合は、温水チューブがつぶれないように注意してください。

温水チューブを背面に引き回す場合

室内ユニットの背面に温水チューブを引き回す場合は、温水チューブと室温センサーは6cm以上離してください。温水チューブの熱により、室温センサーが温められて室温コントロールができなくなります。

6cm以上離すことができない場合は、室温センサーのクランパーをはずし、下図のように室内ユニット背面の右側に室温センサーを付け替えてください。

お手入れ

修理を依頼される前に

● 使用中に異常がありましたら、下表により原因を調べて処置してください。

症　状	原　因	処　置
運転しない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
送風機が回らず温風が出ない。 送風機の回転が弱い。	室温コントロールが作動している。	設定温度が適正か、確かめてください。
	冷風防止機能が作動している。	運転開始後、温水温度が低いとすぐには温風が出ません。7～8分ほどお待ちください。
	開閉弁ダイヤルが閉になっている。	開閉弁ダイヤルを開にしてください。（10ページ参照）
	温水チューブと室温センサーが接触している。	室温センサーから温水チューブを離してください（25ページ参照）。
入タイマーが設定できない。	現在時刻の設定がされていない。	11ページの「現在の時刻の合わせ方」の方法に従って現在時刻を設定してから入タイマーの設定を行なってください。
暖まりが悪くなった。	エアフィルターにゴミが詰まっている。	エアフィルターを掃除してください。（23ページ参照）
運転中または停止後に「ピシッ」という音がする。	温度変化により、樹脂部品が伸縮するために発生する音であり、故障ではありません。	――――

● デジタル表示部の点滅表示について

症　状	原　因	処　置
E20	室温が高くなり、運転を停止した。	室温が低下してから運転／停止ボタンを押してください。
E23 通信異常 （信号線接続不良） （室外ユニット電源プラグ抜け）	室外ユニットの電源プラグがコンセントから抜けている。	室外ユニットの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	室外ユニットの電源プラグ＜メス側＞が温水コンセント接続部から抜けている。	室外ユニットの電源プラグ＜メス側＞を温水コンセント接続部に差し込んでください。
	温水プラグが温水コンセントから抜けている。	温水プラグを温水コンセントに差し込んでください。
E21、E22、E27	点滅表示の場合は、お買い上げ販売店又は当社サービス窓口へご相談ください。	
E01 シスターンタンク水量検知作動	暖房水が少ない。	室外ユニット、配管まわりを確認し、水漏れがないかを確認し、水道水を補給してください。（詳しくは室外ユニットの「取扱説明書」をご覧ください）
		※必ず水道水を補給してください。井戸水、硬水などを補給すると機器を破損するおそれがあります。
E02 耐震自動消火装置 （感震器作動）	地震があった。	室外ユニット周りに異常がないか確認し、再度、室内ユニットの運転／停止ボタンを押して下さい。
	室外ユニットに衝撃が加わった。	
	室外ユニットが傾いている。	室外ユニットの水平を確認して下さい。（詳しくは室外ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。）
E03 点火ミス （燃料切れ）	油タンクに油がない。	油タンクを確認し、給油してください。
	定油面器がセットされていない。	室外ユニットのリセットレバーを2～3回押し下げてください。（詳しくは室外ユニットの「取扱説明書」をご覧ください）
		※リセットレバーが元の位置に戻っているか必ず確認してください。戻っていないと油漏れとなり大変危険です。
E04 燃焼不良	給排気口がふさがっている。	給排気口をふさいでいるものを取り除いてください。
E05 加熱防止装置作動	停電があった。	しばらく待ってから、室内ユニットの運転／停止ボタンを押してください。
		※停電がありますと、暖房水の循環が止まる為余熱で「E05」が作動する場合があります。温度が下がるまでしばらく待ってから運転を再開してください。
E06～E19	点滅表示の場合は、お買い上げ販売店又は当社サービス窓口へご相談ください。	
	※E17（循環異常）表示の場合は、機器の再運転はしないでください。再運転を行うと、機器が破損するおそれがあります。	

● 故障表示の解除

①室内ユニットに故障表示がでましたら、「デジタル表示部の点滅表示について」にしたがって、点検・処置をしてください。
②点検・処置が終わりましたら、室内ユニットの運転／停止ボタンを押してください。（故障表示が消えます。）
③室内ユニットの運転／停止ボタンを押し、運転を再開してください。

●異常時にはデジタル表示部が「E00」点滅表示となります。「E00」は故障箇所を示す数字で、E01～19は室外ユニットの異常を、E20～27は室内ユニットの異常を表わしています。
●室外ユニットの異常については、室外ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。
●当社のサービス窓口（全国サービスネットワーク）は、室外ユニットの「取扱説明書」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。	●形　　名…KH-60R-W ●故障状況…できるだけ詳しく ●お買上げ年月日…保証書をご覧ください	●お名前 ●ご住所 ●電話番号 ●訪問ご希望日…ご都合の悪い日も

※修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

アフターサービスと保証

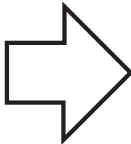
項目	内容
保証書について （別に添付してあります）	●保証書は販売店からお渡し致しますので、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証書がありませんと、保証期間中でも修理費を請求される場合があります。 ●保証期間は、お買い求めの日から１年間です。
保証期間中の修理について	●26ページの「修理を依頼される前に」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買い求めになった販売店に保証書を添えて修理を依頼してください。
保証期間経過後の修理について	●保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
性能部品の保有期間について	●製品の補修用性能部品は製造終了後、９年間保有しております。 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。
引越しなどで購入店に修理依頼ができない場合	●お近くの当社製品取扱い店か、別紙の全国サービスネットワークに記載されています最寄りのサービス窓口にご相談ください。
修理料金	●修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

外国での保証は？

●この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country
No servicing is available outside of Japan.

困ったとき

仕様

この温水ルームヒーターの仕様は以下の通りです。

形名		KH-60R-W	外形寸法	高さ	47.5cm
標準暖房能力	強	6.00kW(5160kcal/h)		幅	60.5cm
	微	2.84kW(2440kcal/h)		奥行	19.5cm
電源		AC100V　50/60Hz	質量		10kg
定格消費電力（50/60Hz）		38/40W	配管接続		φ8用温水チューブ
運転電流（50/60Hz）		0.39/0.46A	付属品		リモコン、乾電池（2本） バンド（2本） バネ(2個)、保護クッション
騒音（50/60Hz）		43/41dB			
標準通水量		3.2L/min			
標準通水抵抗		26.46×10^{3}Pa(2.7mH_2O)			
最高使用圧力		98.1×10^{3}Pa(1kgf/cm^2)			

●室内機の暖房能力（強・微）は室温 20℃のときの値です。室外機と温水配管 3m で接続した実測値です。

安全のための点検のお願い（NOTICE）

次のような症状やその他の異常がある場合には、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。点検修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

●ご自分での修理は、危険な場合がありますから、絶対にしないでください。

●下記の症状や異常がない場合でも４～５年お使いの機器は、安全のため点検をお勧めします。

長年ご使用の温水ルームヒーターの点検を！

愛情点検

次のような症状がありましたら…

- ●電源コード・プラグが異常に熱い。
- ●電源コードに深い傷や変形がある。
- ●焦げ臭いニオイがする。
- ●ピリピリと電気を感じる。
- ●暖まりが悪くなった。
- ●水もれがする。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご連絡ください。

お客様へ…おぼえのため、お買上げ年月日、お買上げ店名を記入されると便利です。

お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名	
	TEL

株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長 1116 番地
☎044(866)1111(大代表)

9403662013-01